

あんぜん せいかつ おくる
安全な生活を送るために
じぶん いのち まもる
～自分の命を守るために～

じどうよう
（児童用）

ねん くみ なまえ

じぶん いのち まもる
自分の命を守るためにどうすればいいでしょう。
おうちの人と考えてみましょう。

し ひと こえ
1. 知らない人から声をかけられました。

Q1 がっこう かえ みち し 知らないひと から、お菓子をあげようか。」と声をかけられました。どうですか？

- ① () お菓子がほしいからついていく。
- ② () やさしそうな人だからついていく。
- ③ () 知らない人にはついていかない。
- ④ () 近くにいるおとなに、声をかけられたことを伝える。

おうちの人とのやくそく

Q2 あそ 遊んでいるとき、知らない人に車から「おうちの人にたのまれて、むかえにきたよ。」と声をかけられました。

- どうしますか？
- ① () すぐに車からはなれる。
 - ② () 車に近づいて話をする。
 - ③ () 「おうちの人」と言っているので、車にのる。

おうちの人とのやくそく

Q3 知らない人につれていかれそうになりました。どうしますか？

- ① () すぐに走って逃げる。
- ② () 大声を出して、たすけをもとめる。
- ③ () ぐらぐらしてすかなところにかくれる。
- ④ () 近くのお店や家になげこむ
- ⑤ () ぼうはんブザーやふえをならす。

おうちの人とのやくそく

2. 友だちとあそびに行くとき、あそんでいるときに・・・。

Q4 友だちから、遊びにいこうとさそわれました。どうしますか？

- ① () おうちの人に言って、出かける。
- ② () おうちの人にだまって、出かける。
- ③ () おうちの人がないので、出かける。
- ④ () おうちの人がないので、どこにいくのかメモに書いて出かける。

おうちの人とのやくそく

Q5 公園であそんでいるときに、友だちがみんな「かえろう。」といました。どうしますか？

- ① () みんなといっしょにかえる。
- ② () 楽しいから、ひとりであそぶ。
- ③ () まだ明るいから、ひとりであそぶ。
- ④ () 家の近くまでかえって、家の近くの公園であそぶ。

おうちの人とのやくそく

3. 家にひとりにいるときに・・・。

Q6 家にひとりで、るすばんをしていると、げんかんのチャイムがなりました。どうしますか？

- ① () かぎをあけない。
- ② () 優しいような声の人だとかぎをあける。
- ③ () どんな人でもかぎをあける。

おうちの人とのやくそく

Q7 家に知らない人から、でんわがかかってきました。「今から、とどけたいものがあり、あと10分ぐらいでそちらにいくので、ドアのかぎをあけてほしい。」といわれました。どうしますか？

- ① () 「また、ちがう日にしてほしい。」と言って、ドアはあけない。
- ② () やさしそうな声なのでドアをあける。
- ③ () とどけものは大切なものだと思うのでどんな人でもドアをあける。

おうちの人とのやくそく

4. こんなこと、知っていますか・・・。

Q8 みんなのまわりには、みんなを^{まも}守ってくれるお店や^{みせ}交番^{こうばん}などがあります。
どこにあるか、知っていますか？

- ・子ども110番のいえ
- ・^し知り^あ合いのおうち
- ・^{こうばん}・^{けいさつ}しよ
- ・^{しょうぼう}しよ
- ・^{ゆうびん}きょく



Q9 みんなのおうちの近くや学校の近くにも、^{きけん}なところがあります。
どこにあるのか、おうちの人と^{たしかめ}ておきましょう。
また、^{ぜったい}にまもることを、かいてみましょう。

おうちの人とは^{ひと}なしたったこと

ぜったいまもること

5. もういちど、たしかめましょう。

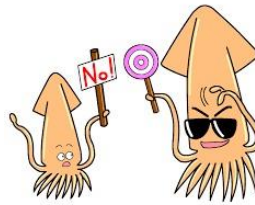
(1) でかけるときは、おうちの人^{ひと}につぎの4つをつたえよう。

- ①だれと。
- ②どこに。
- ③何^{なに}をしに。
- ④何時^{なんじ}ころまで。



(2) 知らない人^{ひと}につれていかれそうになったら・・・。

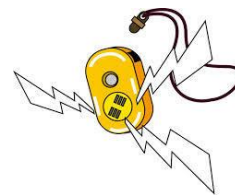
- ①い^しかない。
- ②の^しらない。
- ③お^{こえ}お^{たす}声で助けをよぶ。
- ④す^しぐににげる。
- ⑤し^しらせる。



いかのおすし

(3) こわいときには・・・。

- ①ちかよらない、す^しぐににげる。
- ②お^{こえ}お^{たす}声でさけぶ、たすけをもとめる。
- ③ちか^{ちか}くの店^{てん}や家^{いえ}ににげる。
- ④ぼうはんブザーなどをならす。



(4) 家^{いえ}にかえってきたときには・・・。

- ①い^いえのかぎをみせない。
- ②い^いえのまわりをよく^み見る。
- ③ゆ^ゆうびんポストをチェック。
- ④だ^だれもいなくても「ただいま」。
- ⑤な^なかに入ったら、す^すぐにとじまり。



いいゆだな

安全な生活を送るために ～自分の命を守るために～ 解説編（保護者用）

1. 知らない人から声をかけられました。

Q 1. 学校の帰り道、知らない人から、「お菓子をあげようか。」と声をかけられました。どうしますか？

《望ましい答え》③知らない人にはついていかない。

④近くにいるおとなに、声をかけられたことを伝える。

《解説》いわゆる声かけ事案です。知らない人に声をかけられた時の対応について、必要な知識と行動の仕方を身に付けさせて下さい。子どもを誘う手口はいろいろあります。

・子どもの好きなもので誘う。（菓子・動物・ゲーム等）

・助けを求める。（道を尋ねる。）

・緊急事態を装う（家族の事故を装い病院へ等）

・大人の世界へ誘発する。（モデル・タレント、写真撮影等）

知らない人にはついていかない。近くの人に伝える等の行動が必要。

Q 2. 遊んでいるとき、知らない人に車から「おうちの人にたのまれて、むかえにきたよ。」と声をかけられました。どうしますか？

《望ましい答え》①すぐに車から離れる。

《解説》車に連れ込まれる事案が発生しています。道を聞かれることなどがあっても、絶対に車に近づかないように注意することが大切です。

Q 3. 知らない人につれていかれそうになりました。どうしますか？

《望ましい答え》①すぐに走って逃げる。

②大声を出して、たすけをもとめる。

④近くのお店や家ににげこむ。

⑤ぼうはんブザーやふえをならす。

《解説》気を付けていても、こわい目にあうことがあります。危険場面での行動の仕方について、普段から考えておくことが大切です。防犯ブザーは、時々鳴らして音が出ることを確認して下さい。いざという時、すぐ使えるよう、スカートやズボンの吊りひも、ランドセル等の手の届く位置につけておくようにしましょう。また、外出時には、防犯ブザーの代わりにホイッスル（笛）なども効果的です。



2. 友だちと遊び行く時、遊んでいるときに・・・。

Q 4. 友だちから、遊びにいこうとさそわれました。どうしますか？

《望ましい答え》①おうちの人に言って、出かける。

③おうちの人がないので、出かける。

④おうちの人がないので、どこに行くのかメモに書いて出かける。

《解説》外出時の約束についてご家族でよく話し合い、お子様が黙って出かけることのないように十分ご指導下さい。連絡が取れない場合はメモで伝える等、事前に連絡方法の約束をしておくことが大切です。



Q 5. 公園であそんでいるときに、友だちがみんな「かえろう。」といいました。どうしますか？

《望ましい答え》①みんなといっしょにかえる。

《解説》一人で行動すると様々な危険なことに巻き込まれる可能性が高くなります。「いざ」という時に助けを呼ぶこともできません。防犯を常に意識して行動できるようご指導下さい。また、様々な状況と対応の方法について話し合いを深めて下さい。

3. 家にひとりである時に・・・。

Q 6. 家にひとりで、るすばんをしていると、げんかんのチャイムがなりました。どうしますか？

《望ましい答え》①かぎをあけない。

《解説》一人で留守番していることを知っていて、玄関のチャイムを鳴らせ、ドアが開いた瞬間に、中に入り込む事件も発生しています。くれぐれも、むやみにドアを開けることのないよう、ご指導下さい。

Q 7. 家に知らない人から、でんわがかかってきました。「今から、とどけたいものがあり、あと10分ぐらいでそちらに行くので、ドアのかぎをあけてほしい。」といわれました。どうしますか？

《望ましい答え》①「また、ちがう日にしてほしい。」といて、ドアは開けない。

《解説》宅配便を装った事件があります。安易に鍵を開けないようにご指導下さい。低学年は特に、留守の対応が難しい場合が多いので、家庭でどう対応するのか決めておくことも大切です。

4. こんなこと知っていますか・・・。



Q 8. みんなのまわりには、みんなを守ってくれるお店や交番などがあります。どこにあるか、知っていますか？

《望ましい答え》すべて知っている。

《解説》「いざ」という時のことを考えて、防犯の視点から地域の「子ども110番 青少年を守る店・守る家」等を、お子様と一緒に確認していただきますようお願いいたします。

Q 9. みんなのおうちの近くや学校の近くにも、きけんなところがあります。どこにあるのか、おうちの人とたしかめておきましょう。また、ぜったいにまもることを、かいてみましょう。

《解説》

- (1) 地域や学校等で行っている防犯活動の具体的内容をよく知って活用することが安全確保に役立ちます。お子様と一緒に調べ、確実に内容を把握して下さい。
- (2) 挨拶の励行を始め、近所の方や地域で活動されている方々とお子様や保護者が「知り合い」「顔見知り」になることが子どもたちの安全を守るために必要です。
- (3) 日頃から慣れている場所で、子どもたちにとって危険な場所はたくさんあります。買い物に出かけた時など地域を歩いて実際に場所を確認しましょう。

5. もういちど確かめましょう。

《解説》

- (1) お子様が出出するときには、「①だれと」「②どこに」「③何をしに」「④何時ころまで」の4つを必ず伝えてから出かけることを、日頃からご指導下さい。そういった毎日の習慣が、子どもたちの命を守ることに繋がります。
- (2) 防犯標語は、犯罪に巻き込まれないための注意事項や不審な声かけからの対処方法を子どもになじみやすい形でまとめたものです。子ども自身に、「自分のことは自分で守る」意識を認識させましょう。

いかない のらない おお声で助けをよぶ すぐににげる しらせる

- (3) こわいなと感じた時には、「①近寄らない。すぐに逃げる」「②大声で叫ぶ。助けを求める。」「③近くの家や店に逃げる。」「④防犯ブザーなどを鳴らす」といったことも、日頃からお子様にご指導下さい。
- (4) 防犯標語としては、他に、「いいゆだな」等があります。こういった標語は、日常の行動の中に当てはめながら覚えるようにすることが大切です。

「いいゆだな」の意味

- えの鍵を見せない。
(ひもでぶら下げた鍵をランドセルの横や服の上から見えるようにしない)
- えの周りをよく見る
(不審者がついてきていないか確かめる。特にエレベーターを利用する子ども)
- うびんポストをチェック
(郵便受けに新聞や手紙がたまっていると、留守がちな家だと思われる)
- だれもいなくても「ただいま」。
(不審者に、家に誰かいると思わせる。)
- なかに入ったら、すぐ戸締り。
(鍵を開けた時に、不審者に中に入られないように気を付ける。)



- ※エレベーターホール等に見かけない人がいないか周囲を確認する。
- ※不審者を発見した時は、管理人や管理組合の人に知らせる。
- ※エレベーターは、非常ベルや各階のボタンを押せる位置に乗る。
- ※後ろから襲われないように壁を背にして乗る。
- ※知らない人と二人だけで乗った時は直近の階でエレベーターを降りる。